

ドイツ経済情勢と進出日系企業動向

The German Economy and Japanese Investment Trends

LEAD THE VALUE

株式会社三井住友銀行
欧州統括部(フランクフルト)部長
西澤 隆一(NISHIZAWA Ryuichi)

Sumitomo Mitsui Banking Corporation
Managing Director
Planning Department, Europe, Middle East
and Africa Division, Frankfurt

2018年11月8日(木) 東京

8th November 2018 (Thu) Tokyo



SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION

Contents

Section 1: ドイツ経済の動向と日系企業のドイツ進出動向・投資状況 02

Trends of the German Economy & Activities of Japanese Companies in Germany

Section 2: 欧州・中東・アフリカにおけるSMBCグループについて 12

SMBC Group's Business Activities in the Europe, Middle East and Africa (EMEA) region

ドイツ経済の動向と日系企業のドイツ進出動向・投資状況

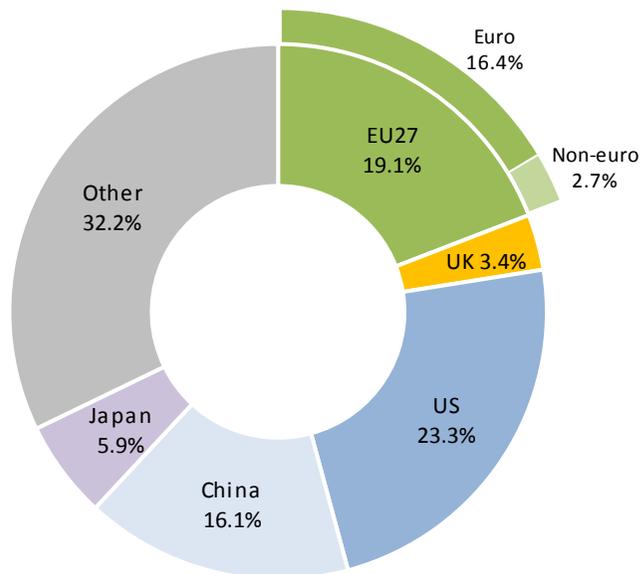
Trends of the German Economy & Activities of Japanese Companies in Germany

ユーロ圏経済の概況

Economic Overview of the Euro Area

◆ EU全体のGDP規模、個人消費は米国に次ぐ規模、人口では米国を上回る。

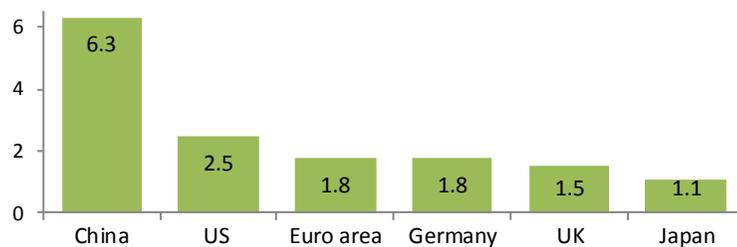
グローバルでのGDPの割合 (%)¹



¹ 2018 estimate at market exchange rates.

(Source) IMF, SMBCE

2019年の成長率予想(コンセンサス) y/y (%)



(Source) Bloomberg, SMBCE

個人消費規模(2016年)

順位	国名	個人消費 (億米ドル)	人口 (百万人)	一人当たり (千ドル)
1	米国	128,207	323	40
	EU合計	92,385	508	18
2	中国	44,124	1383	3
3	日本	27,596	127	22
4	ドイツ	18,521	82	22
5	英国	17,422	66	27
6	フランス	13,638	65	21
7	インド	13,285	1300	1
8	ブラジル	11,496	206	6
9	イタリア	11,311	61	19
10	カナダ	8,919	36	25

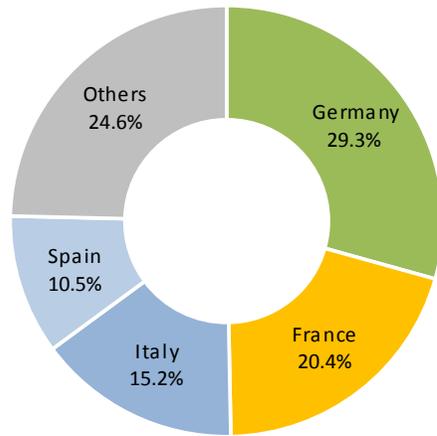
(出所) 国際連合ウェブサイト「National Accounts Main Aggregates Database」、IMF「World Economic Outlook」2017年10月版

選ばれる理由「ドイツ経済の概況」

Overview of the German Economy

◆ ドイツはユーロ圏でGDPシェアが1位で、過去10年の伸びも高い。

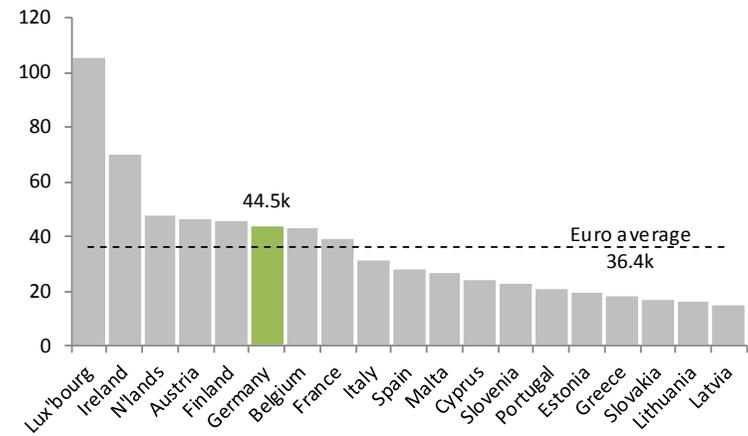
ユーロ圏での名目GDPの各国割合 (%)¹



¹ 2018 estimate at market exchange rates.

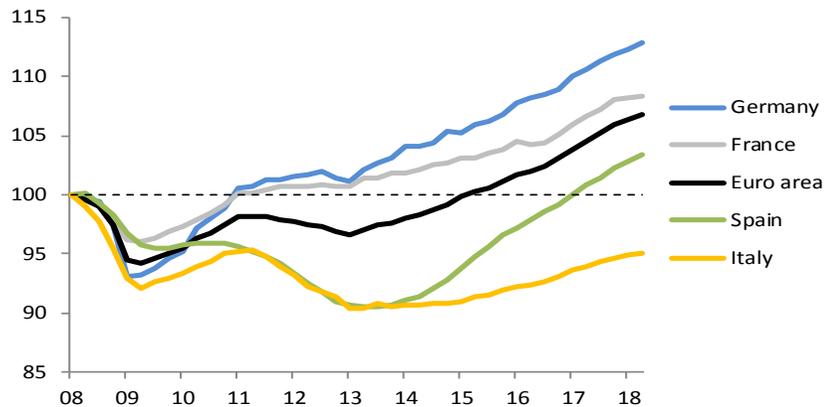
(Source) IMF, SMBCE

国民一人当たりGDP(千ドル)



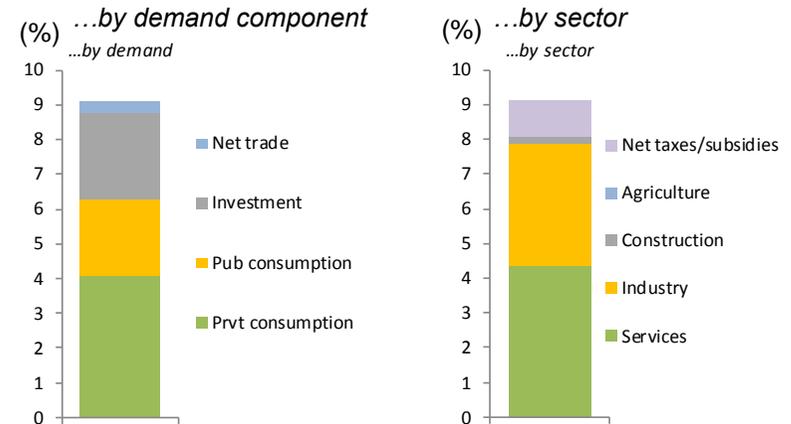
(Source) IMF, SMBCE

実質GDP インデックス (2008=100)



(Source) EC, SMBCE

成長率への寄与度(2012-17)



(Source) EC, SMBCE

選ばれる理由「産業の集積国」 Industries in Germany

- ◆ ドイツは、自動車産業を中心としてグローバル企業を数多く有する。
- ◆ 地域別にみれば、主要企業は南ドイツ地域(ミュンヘン、シュツットガルト等)及び西ドイツ地域(ケルン、デュッセルドルフ等)に集積。

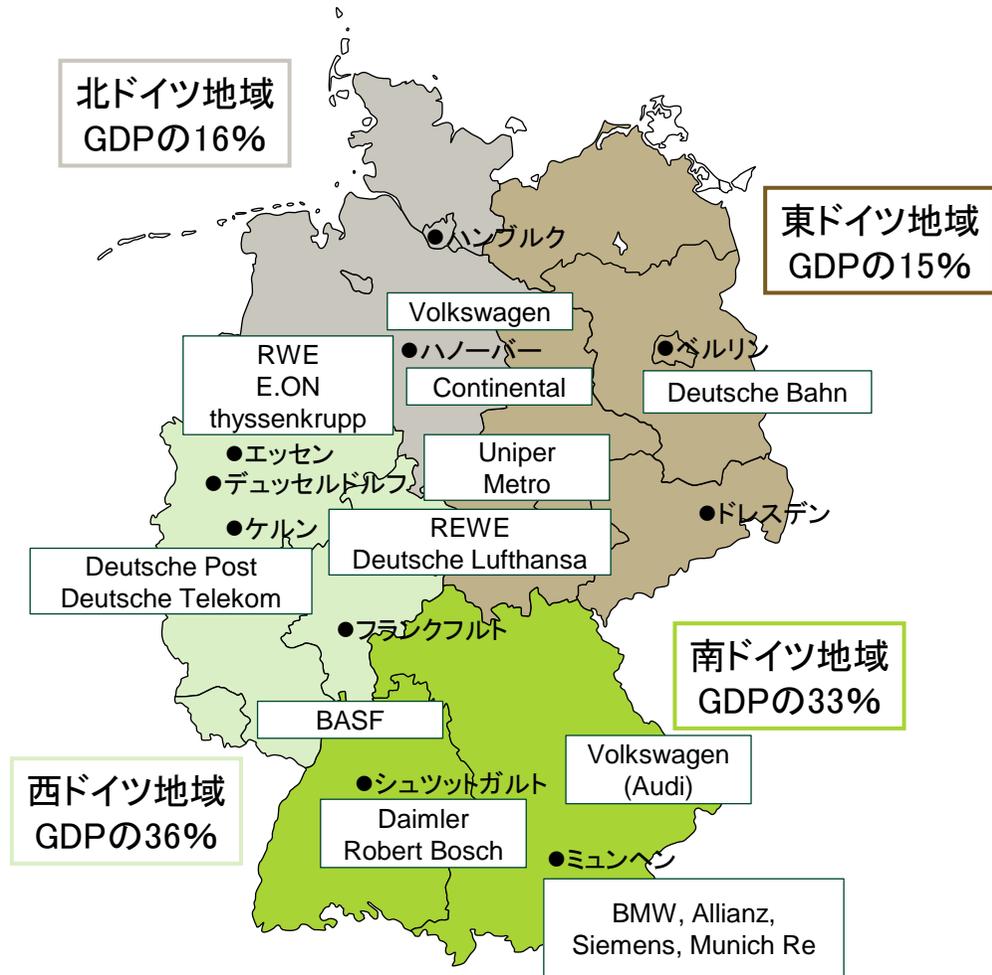
ドイツの主要企業

企業名	業種	売上高(百万€,注)
Volkswagen (Audi)	自動車	230,682
Daimler	自動車	164,330
Allianz	保険	111,983
BMW	自動車	98,678
Siemens	重電等	83,049
Robert Bosch	自動車部品等	78,066
Deutsche Telekom	通信	77,272
Uniper	電力	72,383
BASF	化学	64,475
Deutsche Post	物流	61,019
Munich Re	保険	55,856
REWE	小売	49,424
Continental	自動車部品等	44,009
Deutsche Bahn	運輸	43,881
RWE	電力	42,746
thyssenkrupp	鉄鋼	41,447
E.ON	電力	38,489
Metro	卸売・小売	37,140
ZF	自動車部品	36,444
Deutsche Lufthansa	空運	35,651

(注)直近通期売上高

(出所)Capital IQデータを基に弊社作成

各地域のGDP構成比と主要企業の本社所在地



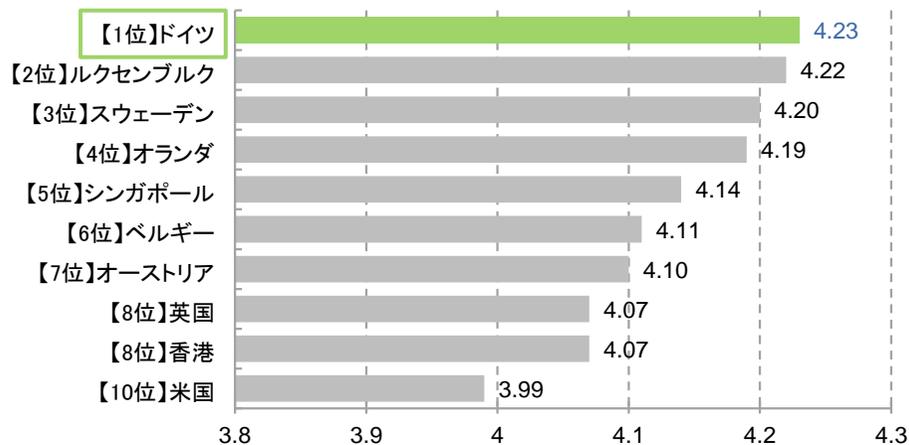
(出所)Jetro資料、Capital IQデータを基に弊社作成

選ばれる理由「ビジネスインフラ」 Business Infrastructure

- ◆ 物流インフラは国際的に評価が高い。
- ◆ 陸海空路で欧州諸国へ繋がる交通の要衝。優れた貿易環境を維持。

国際物流競争力(LPI)比較(2016年版)

【上位10カ国】



世界で第1位
EUで第1位

【調査概要】

- ・155カ国について調査。
 - ・評価項目は右記の通り。
- 6項目の総合評価により順位を決定。

(評価項目)

- ① 出港手続の効率性
- ② 港湾・鉄道等インフラの質
- ③ コスト
- ④ ロジスティックサービスの質
- ⑤ 荷送状況の追跡可能性
- ⑥ 目的地への期日内出荷

(出所)世界銀行ウェブサイト「International LPI」

欧州域内の陸海空路の貨物輸送量、取扱量

【陸路】貨物輸送量(2016年)

順位	国名	貨物輸送量 (千トン)
1	ドイツ	3,110,560
2	英国	1,885,114
3	フランス	1,727,611
4	ポーランド	1,313,657
5	スペイン	1,285,164

フランクフルトからのアクセス(航空機)
(参考)南アフリカ 10時間45分、
ドバイ 6時間20分



【海路】港湾貨物取扱量(2015年)

順位	港湾名 (国名)	貨物輸送量 (千トン)
1	ロッテルダム (オランダ)	436,942
2	アントワープ (ベルギー)	190,107
3	ハンブルク (ドイツ)	120,173
4	アムステルダム (オランダ)	98,776
5	アルヘシラス (スペイン)	79,374

【空路】航空貨物取扱量(2016年)

順位	国名	貨物輸送量 (千トン)
1	ドイツ	4,467
2	フランス	2,516
3	英国	2,511
4	オランダ	1,832
5	ベルギー	1,089

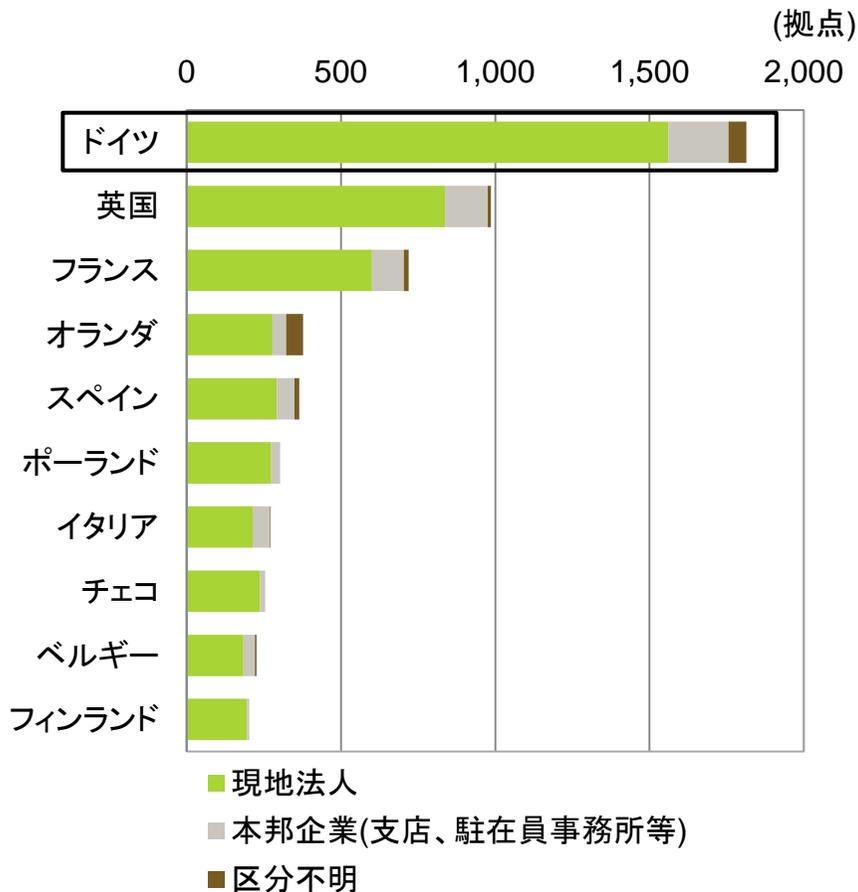
(出所) eurostat「Goods transport by road」、「Top 20 ports - Gross weight of goods handled in each port, by direction」、「Air transport of goods」

ドイツへ進出する日系企業

Activities of Japanese Company

- ◆ ドイツにおける日系企業の拠点数は2017/10月時点で1,800強に及び、他の欧州諸国を大きく引き離している。
- ◆ 業種別にみれば、卸売業・小売業や製造業がドイツに多く進出している状況。

欧州の日系企業数(2017/10月時点、上位10カ国)



ドイツにおける日系企業の業種別進出状況

(単位:拠点数)

順位	業種	拠点数
1	卸売業・小売業	565
2	製造業	508
3	宿泊業、飲食サービス業	131
4	情報通信業	100
5	学術研究、専門・技術サービス業	87
6	運輸業、郵便業	76
7	サービス業(他に分類されないもの)	62
8	金融業・保険業	30
9	生活関連サービス業、娯楽業	29
10	医療、福祉	22
-	その他	204
合計		1,814

(出所)外務省「海外在留邦人数調査統計」を基に弊社作成

ドイツの投資環境～地域の特徴

Investment Environment in Germany

- ◆ 日系企業の進出分野は製造業が5割強。
- ◆ デュッセルドルフが日系企業最大の集積都市。

進出日系企業数（2017年、昨年比）（合計 1,814社、+3社）

ハンブルク地域（122社、-4社）

- ・ハンブルク市はドイツで2番目の人口規模（約178万人）
- ・ドイツ最大の港のハンブルク港を有する
- ・工業とサービス業の中心地
- ・ドイツメディアの中心地、通信社、新聞社、雑誌社が拠点を設置

デュッセルドルフ地域（622社、+5社）

- ・ドイツ経済の中心
- ・州都デュッセルドルフから半径500kmのEU圏内に約1億5,000万人が居住（EU域内の全消費者の3分の1、購買力の45%に相当）
- ・国際空港、高速鉄道網等の卓越したインフラが整備

バーデン・ヴュルテンベルク地域（260社、-12社）

- ・ドイツで3番目に面積が大きな州
- ・輸出額ではドイツの中でトップグループ
- ・ハイテク技術と自動車産業が中心



(注)フランクフルトはヘッセン州の都市
ベルリン及び東部ドイツ地域

（81社、+5社）

- ・サービス、メディア、情報通信産業の拠点
- ・首都機能はボンとベルリンに集約
- ・ベルリンの人口の4分の1は、連邦政府もしくは他の行政機関に従事している

フランクフルト地域（287社、+2社）

- ・ドイツ国内で所得水準が最も高い地域
- ・ドイツ証券取引所、連邦銀行、欧州中央銀行が所在、金融中心地
- ・ヘッセン州の4社に3社はサービス産業
- ・道路、鉄道インフラのネットワークの拠点
- ・消費財、機械製造、電子工学、化学、製薬、自動車産業が発達

バイエルン地域（442社、+7社）

- ・ドイツで最大面積の州
- ・ミュンヘンにはドイツ国内のハイテク産業が集積
- ・未来志向の技術（特に航空宇宙技術）が発達

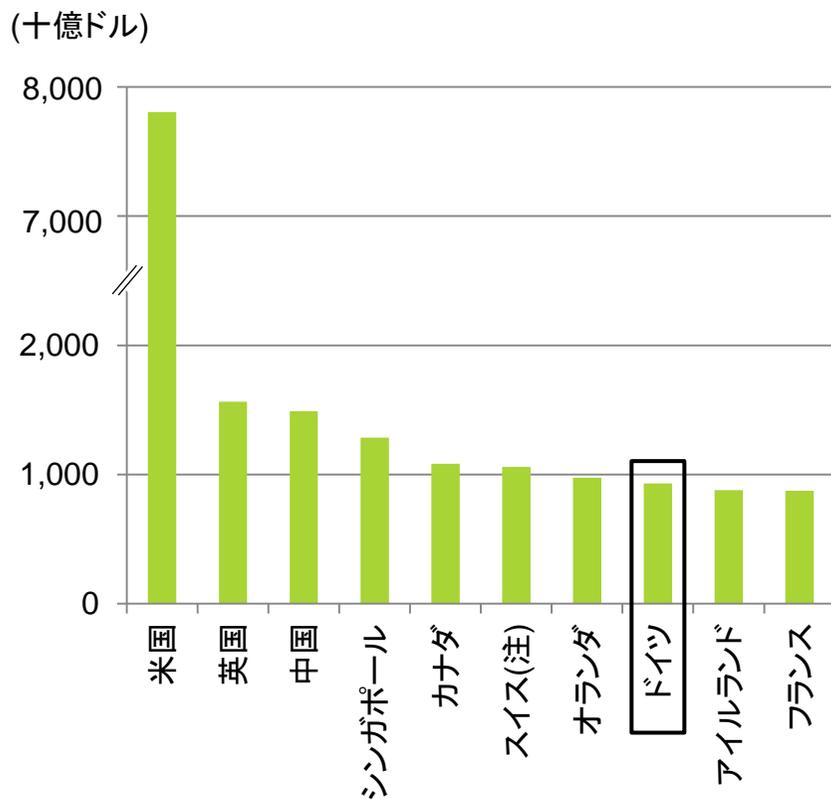
(出所)外務省「海外在留邦人数調査統計平成28年度要約版」、在ミュンヘン日本国総領事館「バイエルンインフォ」、「バーデン=ヴュルテンベルクインフォ」、他

ドイツにおける投資動向

Investment Activities in Germany

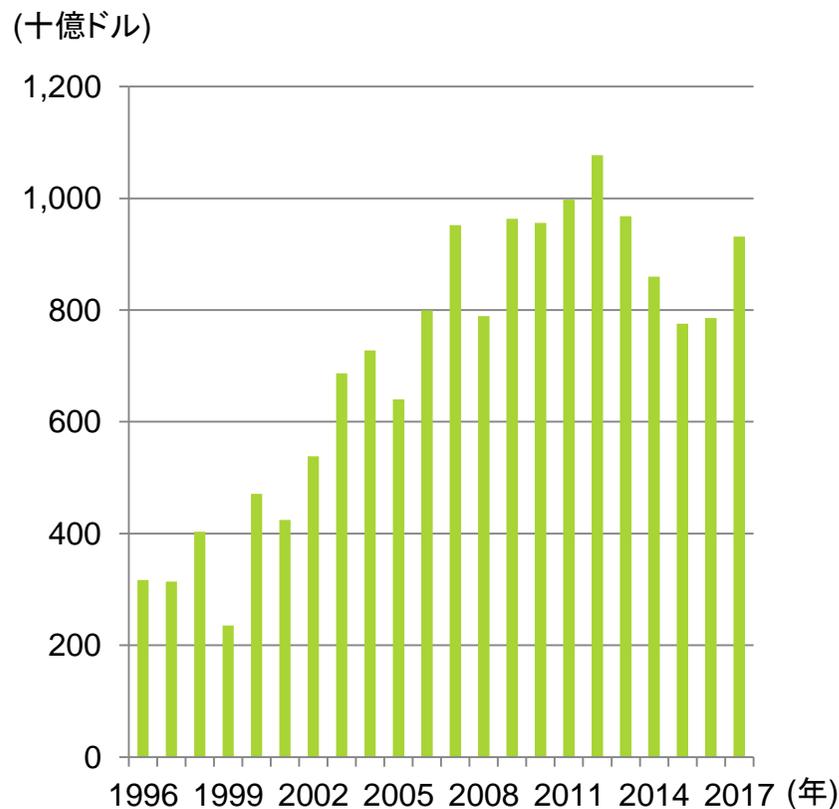
- ◆ 対内直接投資残高の2017年実績をみると、ドイツは世界第8位と、グローバルベースで上位に位置する。
- ◆ ドイツの対内直接投資残高は、景気動向等による変動はあるものの長期的には大きく拡大しており、足元でも再び増加に転じている。

対内直接投資残高(2017年、グローバルベースで上位10カ国)



(注)ルクセンブルクを含む

ドイツの対内直接投資残高推移



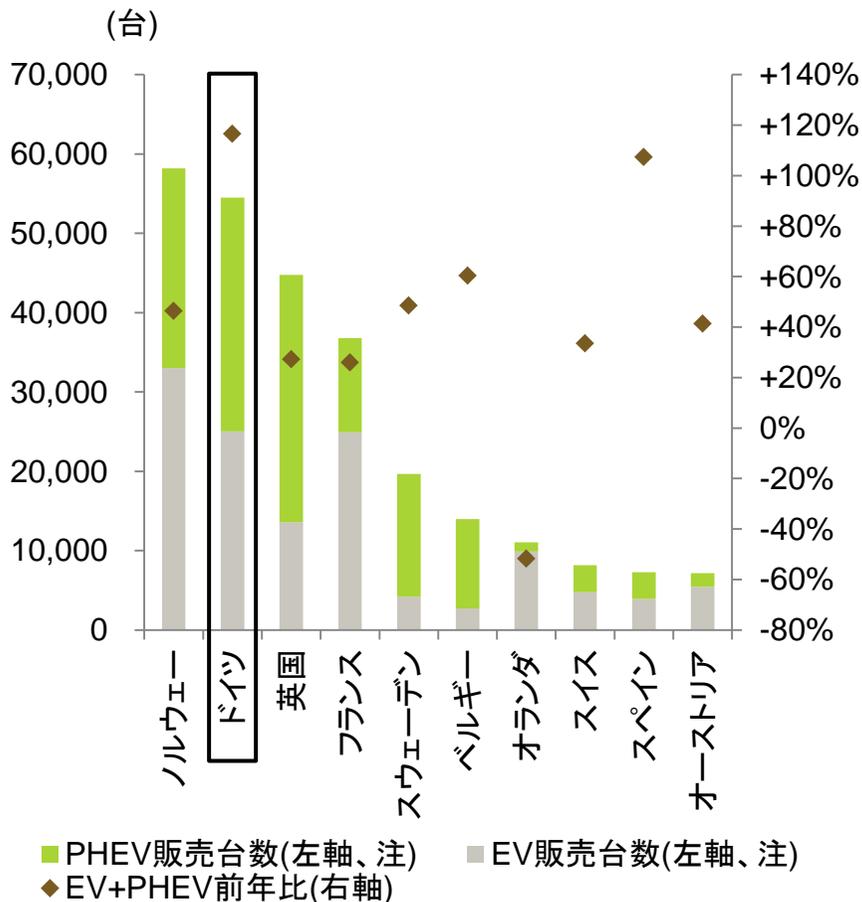
(出所)UNCTADデータを基に弊社作成

ドイツにおける産業動向(自動車・IT)

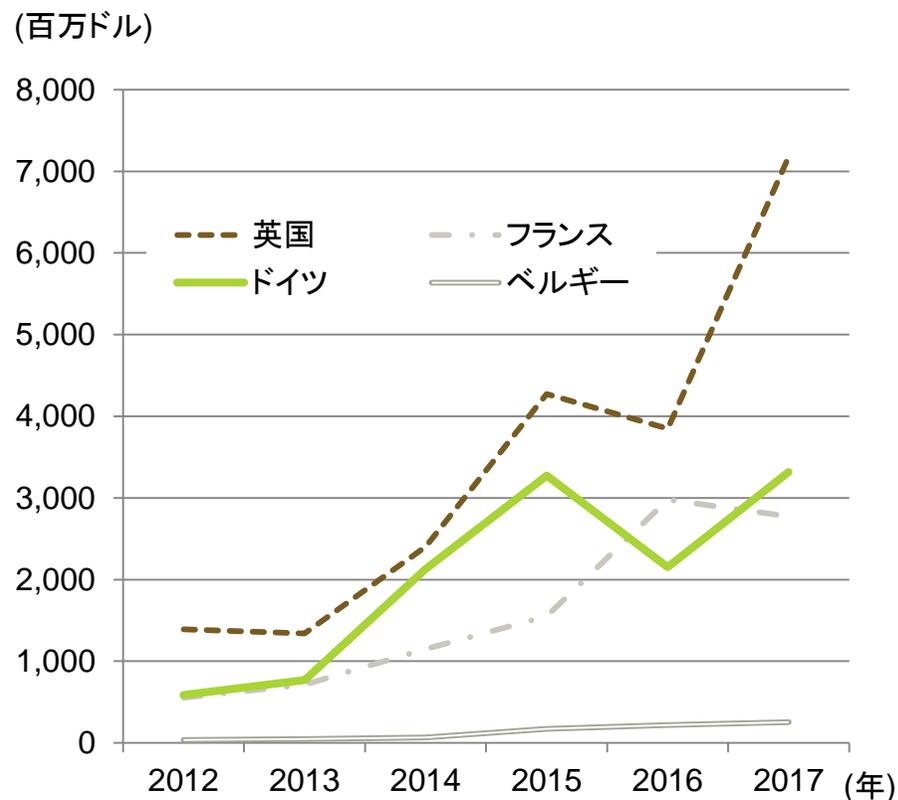
Industrial Activities in Germany

- ◆ ドイツでは、ディーゼル車の走行規制導入によりディーゼル車の販売が減少する一方、電動車の販売拡大が進んでいる。
- ◆ また、IT関連(ソフトウェア開発、データサイエンス、サイバーセキュリティ等)の投資額は、2017年実績で首位の英国に次ぐ水準。

欧州自動車国別販売台数(2017年)



欧州におけるIT関連の国別投資額(上位3カ国)



(注)EV: Electric Vehicle(電気自動車)
 PHEV: Plug-in Hybrid Electric Vehicle(プラグインハイブリッド車)

(出所)ACEAデータを基に弊社作成

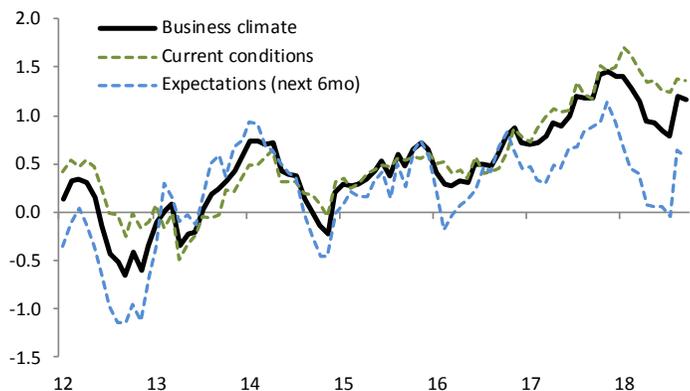
(出所)ATOMICOデータを基に弊社作成

ドイツ経済の今後の見通し

Outlook for German Economy

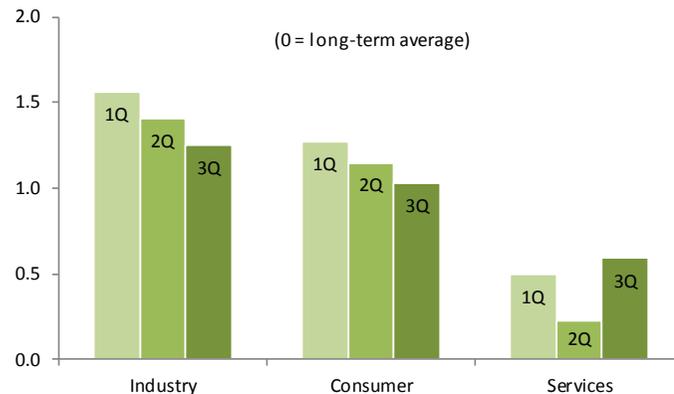
◆ 足許、政治的な不確実性が増しているものの、業況判断指数は高い

Ifo企業景況感指数



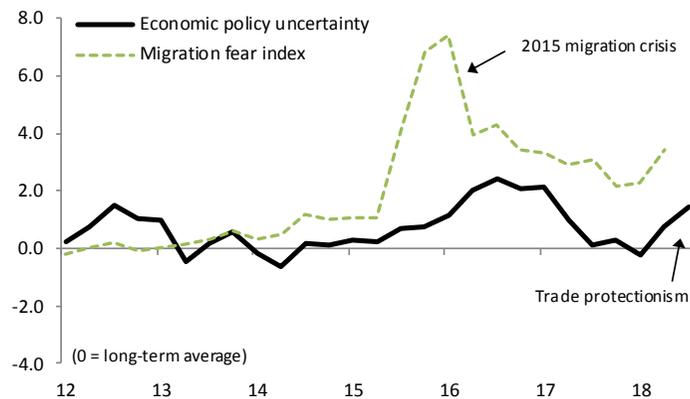
(Source) Ifo, SMBCE

欧州委員会(EC)景気動向指数(業種別)



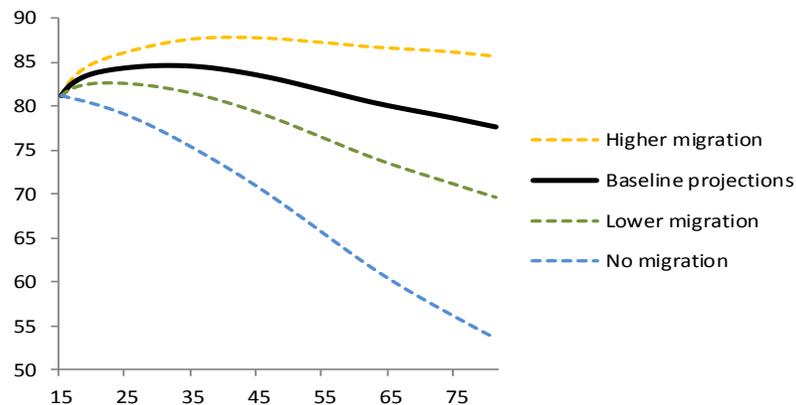
(Source) EC, SMBCE

政権運営の不安定指数 (News-based PUI)



(Source) Baker, Bloom, & Davis; SMBCE

人口予想(百万人)



(Source) EC, SMBCE

欧州・中東・アフリカにおけるSMBCグループについて

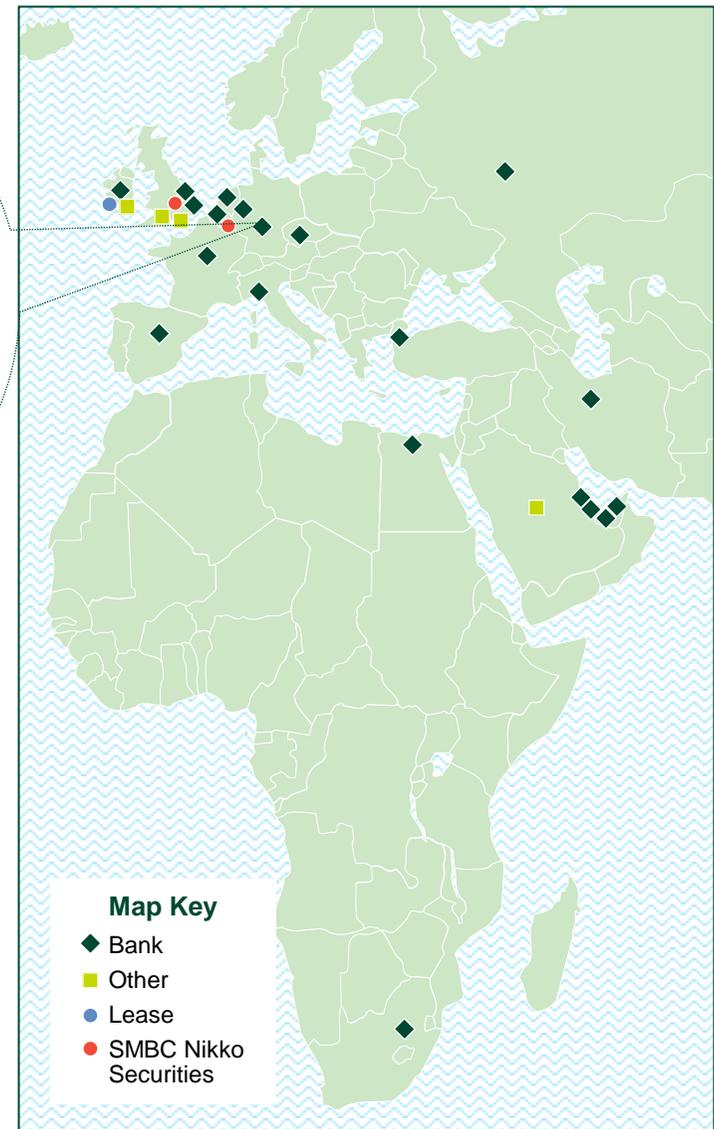
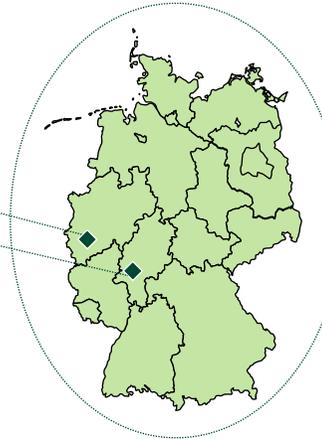
SMBC Group's Business Activities in the EMEA Region

欧州・中東・アフリカにおけるSMBCグループのネットワーク

SMBC Group Network in Europe, Middle East and Africa (EMEA)

Europe

- ◆ Sumitomo Mitsui Banking Corporation Europe Ltd.
Head Office: London
Branch : Paris, Milan, Dublin, Amsterdam, Prague, Madrid
- ◆ SMBC Brussels Branch
- ◆ **SMBC Dusseldorf Branch**
- ◆ **SMBC Frankfurt Branch**
- ◆ SMBC Istanbul Rep Office
- ◆ SMBC London Branch
- JSC Sumitomo Mitsui Rus Bank
- Sumitomo Mitsui Finance Dublin Ltd.
- SMBC Nikko Capital Markets Ltd.
- SMBC Nikko Bank (Luxembourg) S.A.
- SMBC Leasing & Finance, Inc. (London)
- SMBC Leasing (UK) Ltd
- SMBC Aviation Capital Limited
- Sumitomo Mitsui Asset Management (London) Limited
- Sumitomo Mitsui Finance and Leasing Company, Limited (Dublin)
- JRI Europe, Ltd



Map Key

- ◆ Bank
- Other
- Lease
- SMBC Nikko Securities

Middle East

- ◆ SMBC Abu Dhabi Rep Office
- ◆ SMBC Bahrain Rep Office
- ◆ SMBC DIFC Branch-Dubai
- ◆ SMBC Doha QFC Office
- ◆ SMBC Tehran Rep Office
- SMBC Advisory Services Saudi Arabia LLC

Africa

- ◆ Cairo Rep Office
- ◆ Johannesburg Rep Office

欧州・中東・アフリカにおけるSMBCグループのサービス概要

SMBC Group's Service Outline in EMEA

- EMEAの拠点ネットワークとロンドンの専門部隊をフル活用し、EMEA地域で活躍されているお客さまや今後ビジネスをお考えになられているお客さま、ならびにアジアをはじめとする世界各地でのビジネス機会を模索する域内のお客さまへ、各地域特有の法規制や会計制度、マーケットの特色を踏まえたサービス・金融ソリューションを提供していきます。
- 金融プロダクトの観点では、数々の受賞実績を誇るプロジェクトファイナンスやトレードファイナンスなどの分野で高い実績をあげています。また、航空機ファイナンスや船舶ファイナンス、イスラム金融などの専門部隊を銀行内に設置しているほか、デリバティブ、証券業務、M&Aなどの分野ではグループ会社とも連携をとり、最適なサービスを提供出来る体制を整えています。

サービス名	サービス概要
コーポレートファイナンス	欧州、中東、アフリカ地域において、お客さまのニーズに迅速かつきめ細やかに対応します。また、欧州に進出されるお客さまには、進出のステージに適したソリューションを提案します。
プロジェクトファイナンス	資源・プラント・石油化学・電力(含む再生可能エネルギー分野)・通信分野などプロジェクトファイナンスに関し、長年培ってきた業界トップクラスの豊富な経験・ノウハウを駆使し、お客さまに最善のアドバイザリーサービスおよびファイナンスを提供します。
トレードファイナンス	歴史的に貿易取引の中心地である欧州で、西欧、中・東欧、ロシア、中東、アフリカの各地域の貿易案件に絡み、サプライチェーンファイナンスやリスクヘッジなど多種多様な金融ソリューションを提供します。
LBOファイナンス	投資ファンドなどが企業買収を行う際の資金を提供すると共に、ファンドの投資先売却に伴うM&Aニーズにもお応えします
ECA(Export Credit Agency)ファイナンス	各国の輸出信用機関の提供する制度金融を用いて、輸出入取引や事業投資案件を対象に、多様なファイナンスを提供します。
キャッシュマネジメントサービス(CMS)	Webバンクサービス「E-Moneyger®」を通じ、資金決済、資金回収、プーリング、銀行取引照会、為替予約確認など、お客さまのより効率的な資金運用・調達をお手伝いします。
シンジケーション	ロンドンにシンジケーションの専門部隊を設置。お客さまの大型のファイナンスニーズにお応えします。
証券化投資業務	ロンドンに証券化業務を行う専門部隊を設置、世界各国の金融機関とのリレーションを活かしたソリューションを提案します。
トレジャリー	ドル・ユーロ・ポンド・円・新興国通貨など様々な通貨での為替取引、ご預金に対するニーズにお応えします。

重要事項およびお問合せ先

- 本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものです。特定の金融商品・サービスあるいは特定の取引・スキームに関する申し出や勧誘を意図したものではありません。また特定の金融商品・サービスあるいは特定の取引・スキームの提供をお約束するものでもありません。
- 本資料は一般に信頼できると思われるデータに基づき作成しておりますが、その信憑性・正確性を保証するものではありません。本資料の利用に関してはお客さまご自身でご判断下さいますようお願い致します
- 本資料記載の情報は、今後の経済情勢・マーケット動向等の変化により、内容に変更が生じる場合があります。また、本資料に記載する見解や評価は記載時点でのもので、将来の変動を正確に予想することも困難です。最終的にはお客さまの相場観に基づいてご判断下さいますようお願い致します。なお、本資料に金融商品・サービス等の記載がある場合、当該金融商品・サービス等はお客さまに適切なものであるとは限りません。
- 本資料記載の情報に関する会計・税務・法務面の問題点の有無につきましては、会計士・税理士・弁護士等の専門家と十分にご相談下さいますようお願い致します。
- 本資料はお客さまの参考資料の目的でのみご利用いただきたく、お客さま及びお客さま担当会計士・税理士・弁護士等の専門家以外の法人・個人に対して本資料の全部もしくは一部を引用、複写、転送、開示されることはご遠慮いただきますようお願い致します。

本資料内容についてのご照会は、以下までお願い致します。

株式会社三井住友銀行

欧州統括部(フランクフルト)

代表電話番号: +49 (0)69 22229-8201

欧州営業第一部(デュッセルドルフ)

代表電話番号: +49 (0)211 3619-0

グローバル・アドバイザー一部(東京)

代表電話番号: 03-6706-3938